

ネオアビエタジエン合成酵素

Cat. No. EXWM-5146

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アビエス・グランディス（グランドファー）から分離されました。このクラスI酵素は、アビエタジエン、レボピマラジエン、ネオアビエタジエンをほぼ同じ割合で生成します。EC 4.2.3.18、アビエタ-7,13-ジエンシターゼおよびEC 4.2.3.32、レボピマラジエンシターゼも参照してください。この多機能酵素のX線研究により、クラスI活性は α ドメインにあり、(+)-コパリルニリン酸シターゼ活性（EC 5.5.1.12、クラスII活性）は β および γ ドメインにあることが示されました。ピヌス・タイダ（ロブローリー松）では、主要な生成物はレボピマラジエンであり、アビエタジエンとネオアビエタジエンは少量です。

別名 AgAS; PtTPS-LAS

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.2.3.132

反応 (+)-コパリルニリン酸 = ネオアビエタジエン + ニリン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。